

発行者 藤田 勇輝
編集 志賀 由佳子
近藤 伸男



掲示板十二月号

年末年始の広告他
ツトCMが流れます。

1月1日熊日新聞
別冊「熊日」は必ず
お読み下さい。また
各社広告も同日出て
います。

1月2日〜3日熊
本県庁(シビ)にスポ
「箱根駅伝」にスポ

お名前・泉 巴恵
生まれた日
23年9月26日
サービスク 泉係長
の長女(第3子)

父の希望
「優しい子に育
ててください」



年末のご挨拶

代表取締役 古庄 忠信

早いもので、もう12月の社内報の原稿書きです。今年も特に1年が早く感じられる年でした。正月の恒例行事のあと、2月の初年大祭があり、これも例年通り、超過密工程に皆様と桃んでいた最中、3月11日の東

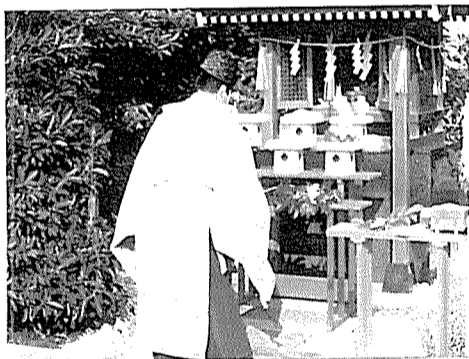


日本大震災が発生しました。菅総理が参議院の予算委員会などで外国人の政治献金問題を追及され、もう辞めるのではと、次の言葉を期待して待っていました。その時に国会議事堂が大きく揺れ始め、地震のニュースに変わり、最初は「最初は何も岩手や宮城の地震なら、阪神淡路と比べたら人口も少ないし、そんな酷い被害はないだろう」と思っていました。津波の映像が写し出

れぞれ良く考えているなと思えました。後にはどうそれを職場で具体化するのか？だけだと思えました。賞与支給の時に私のコメントで言ったように、「みんなが本気になっていて、工夫し、知恵を出して、工程を短縮し、お客様に本当にイズミ車体製作所は『名』と『実』とにすごいと思われ、会社に誇り、利益も出せばこの倍のボーナスをあげたい。来年もよう、よい年をお迎え下さい。

安全祈願祭2011

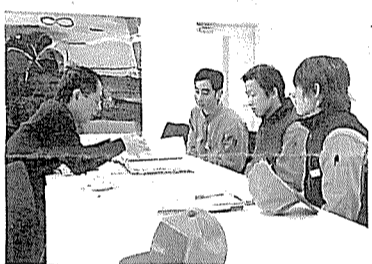
12月12日(月)、恒例の高橋新神宮(津)の安全祈願祭が、工場北東部の本社にて行われました。古庄社長ほか全役員、各部署長並びに今年午通事故にあつた社員、あわせて20数名が参列し、竹内宮司が詠む祝詞に合わせ、今年低頭し、今年1年の感謝と来年の安全と商売繁昌を祈願しました。



その後、竹内宮司と宮崎常務とで大津工場内各所を回り、それぞれで安全を祈願しました。来年は労働事故の件を目標として、工場内の危険箇所の排除と、社員同士の互いの声かけを徹底するよう、心掛けてください。

ISOサーベイランス審査

12月5、6日の両日、日本検査キユーエイによるサーベイランス(継続)審査が行われました。イズミ車体製作所は2010年10月にISO9001の認証を取得していますので、今回で丸1年目の審査という事になります。現在ではマニュアルや手順書等の文書に不備があることはありませんが、いかに効果的に品質管理システムを運用しているか、という視



点での審査が行なわれ、結果として重大な不備は軽微な不適合がいくつかあり、改善の機会が3件と、不備は点での審査が行なわれ、結果として重大な不備は軽微な不適合がいくつかあり、改善の機会が3件と、不備は

その中でも、取りかかれています。いくつかあります。瞬発力が必須とされる工程会議の内容を確実に周知、実行できるように文書化し、部署間での理解の共通化、合意を図ること。設計の出納期管理を手順化すること。力量一覽表は課員の入れ替え、またはレベルアップなどの際、直ちに更新し、その人が出来る作業が補助が必要な作業が

安全講習

12月3日と10日に社員による機械設備の安全使用に関する自主教育を実施し、使用例や保護具の徹底などを学びました。



